

本校の『ゆとり』について

飯島幸久

I. はじめに

本校の研究会議（S, 61. 2）に表題の内容で討議資料を提出して欲しいと研究部長から依頼があった。ちょうど私自身、中学の正担を退く年（61年度は高校正担）でもあり、この機会に過去の実践をまとめることは、自分の新しい出発にも、今後の本校の取り組み方にも、役立つものと考え、意欲的にレポートしてみた。その時の作成資料に実際に生徒がおこなった内容を付け加えこの紙面に記録として残すことにした。

II. 「ゆとり」の起こり

文部省は、昭和52年から指導要領の改訂に取り組み小学校・55年、中学校・56年に新指導要領完全実施を働きかけた。この時に、学校裁量時間としての「ゆとり」なるものが授業時間の中に登場した。

その当時の解説書の「改訂の経過」「改訂の基本方針」から、関連部分をまとめると、

- ⑦生徒の学習負担の適正化
- ⑧各教科の内容精選と標準時数の削減
- ⑨授業時数は週当たりにして3～4時間、約一割の削減
- ⑩現在程度の在校時数を前提
- ⑪地域や学校の実態に応じ創意工夫をということになる。この背景には、高校義務教育化傾向と、落ちこぼれ・少年非行など当時の教育関係者が頭を痛めていた学校事情が社会問題にまで高まっていったことを挙げることができよう。

III. 本校における「ゆとり」の定着について

- 昭和55年……月曜の1限に「生徒活動」
- 昭和55年……土曜の4限をカット
- 昭和56年……月曜の4限に「ゆとり」
- 昭和56年……木曜の5・6限に「学級指導」

当時の中学正担6名の合議により原案を作成し、教官会議で討議の末、週間カリキュラムに定着した。以来2～3度正担の持ち時間等の件で必要・不必要が話題にのぼったことがあるが、現状維持で今日に到っている

IV. 本校の現状報告並びに今後の展望

1. 中学生担の持ち時間4.5の内訳

- (1)月曜1限の「生徒活動」……1時間
- (2)月曜4限の「ゆとり」……0.5時間
- (3)木曜5・6限の「学級指導」……2時間
- (4)週1時間(クラスによってまちまち)
の「道徳」……1時間

4.5時間

いわゆる「ゆとり」と呼ばれているものは、(1)～(3)であるので、それぞれについて実際例をとりあげながら説明していきたい。

2. (1)について

教師も生徒も「生徒会活動」と言うことがよくある。この原因は、生徒会役員の企画・運営で1時間が成立しているためだと思う。しかし、この時間がスタートした時（昭和55年）は企画・運営を中担会（6名の正担）がおこなうという約束・ムードであった。

たまたま、その翌年からずっと生徒部に所属し中学の正担をしている私が中心に動いてきたため、現状のような感じになっている。本来は、教師が毎回頭を悩まして1時間の内容を考えなければならないものである。とはいっても、中担会主催で運営したとしても、内容的には現状と大差のないものになると思うし、生徒の手からこの時間を取り上げて、運営に参加させないとなると、逆に教師の仕事として、生徒会の活発化を他に求めることになる。

『飯島だけえらそう』『飯島が中学の正担でなくなったら』という声が聞かれそうなので……

「私としては、この時間が負担だと思ったことがないといったらウソになるが、現実には、担任6名の協力と実働の上に成り立っているし、生徒会役員が日夜頭を痛めているのであって、役員は生徒がとてもしらぬおもいをしている。しかし、生徒会役員の仕事として、この時間が位置づいていることは、彼らの役員としての自覚を促すことにつながり、実践の活動場面が絶えず保証されているという点でも大変意義深いと思う。現在は年間予定表（別表①）もできあがり、彼らのメインの仕事として位置づいている。」

ここで、別表①の12月の2、レクリエーション〔校

本校の『ゆとり』について

内オリエンテーリング)の内容を具体的に説明することで、この時間の実例を示したい。

表①

名古屋大学教育学部附属中学校

生徒活動の時間(月曜の1限)予定

4月	1 前期学級運営等(各HR)	11月	1 委員会	↑ 遠 足 に つ い て ↓
	2 新入生歓迎会[部・サークル・委員会の紹介]		2 委員会の(仕事・計画)発表会	
	3 立会演説・応援演説会		3 レクリエーション [ゲーム大会]	
5月	1 役員当選あいさつ、及び公約について	12月	1 校内美化コンクール	↑ 遠 足 に つ い て ↓
	2 新入生自己紹介		2 レクリエーション [校内オリエンテーリング]	
	3 "		3 冬休みの計画等(各HR)	
	4 委員会			
6月	1 生徒総会[部・予算等]	1月	1 新年を迎えて(各HR)	
	2 修学旅行・研究成果発表会		2 委員会	
	3 レクリエーション [フォークダンス]		3 委員会の(仕事・計画)発表会	
	4 "			
7月	1	2月	1 レクリエーション [トナチナル大会]	
	2 夏休みの計画等(各HR)		2 "	
	3 学校祭の計画		3 レクリエーション [なわとひ大会]	
9月	1 学校祭の準備・練習(各HR)	3月	1 3年生を送る会	
	2 "		2 1 2年生による生徒総会 [来年度部予算]	
	2 "			
	4 "			
10月	1 学校祭の反省		※定期テストと学校行事のため及び、2月は入試ノースンのため時間のカットが予想される。	
	2 立会演説・応援演説会			
	3 後期学級運営等(各HR)			
	4 役員当選あいさつ、及び公約について			

校舎内・テニスコート・運動場、3つの会場あわせて、30ヶ所(生徒会役員だけが知っている)に、ポイントをかきしておき、学年ごとにスタート場所を変えて、早く正確にポイントを探しだす競技で、チーム優勝とクラス優勝を決めた。当日の時間はこれだけのことであるが、事前の準備としては、かなりの話しあいと用意(①~⑤)が必要であった。

①ポイントづくり(図1)

②カードづくり(別表②)

③ポイントをかきす場所決め(図1)

④朝早く登校して、運動場とテニスコートにポイントを置く

⑤教室内へのポイントは朝礼時に置くなど

役員の説明と私からの注意の徹底で、はじめての試みは大成功に終わった。他の先生方も事前は大変不安がってみえたが、当日は会場の監督もおろそかになる程、生徒とともにポイント探しに熱中した。

以上のように、生徒の手による行事の運営を考えると、今後も生徒部に所属する中学正担の教師が、この時間の企画・運営の中心になって動いていくことが望ましいと、個人的には思っている。将来的に、他の企画として考えられるのは、教師主導で教師の特技(教

科)を生かした内容(漢字テスト・図書館指導・校歌指導等)だろう。

表②

校内オリエンテーリングカード

組 班 名大附属中学生会

〈 班 員 の 名 前 〉

1 _____ 5 _____

2 _____ 6 _____

3 _____ 7 _____

4 _____ 8 _____

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25
26	27	28	29	30

到着タイム ()

(注 意 事 項)

- ※ 1~11までは、校舎内
- 12~22までは、テニスコート
- 23~30までは、クラン1にあります。
- ※ このようなカードを採して、右に記入してください。
- ※ ラルフ・ヘント26字と、△、□、◇、この30の記号があります。
- 〈絶対にはやらないこと〉
- ダイヤルをかきす、移動する。
- 1足でキ内に入ること。
- 班がハラハラに動く。
- 絶対にポイントのないところを探す。
- (個人の机の中、研究室、危険なところ、高枚機)

3 (2)について

四月の新学期スタート時に、中担会の申し合わせ事項の確認をおこなう。その中の一項目として常にあげられている。(別表③参照)

この時間がまさに、教師にとっても生徒にとっても名前の通り「ゆとり」といえるのではないだろうか。内容は、清掃活動と昼食と休憩の時間である。1時間の流れは別表③から理解してもらいたい。この時間ができた当初は、クラスごとにまちまちの1時間の流れであったが、1週間のはじめの曜日ということもあり清掃当番の確認や教師からの伝達事項徹底の意味を含めて、始業のチャイムで席につかせることを中担会で申し合わせ、現状のように、大よその時間配分でとりにくむようになった。

この時間は、行事の関係(立ち合い演説等)で、前述の「生徒活動」の時間とくっつけて使用することがある。

4. (3)について

本校では、昔から木曜の6限に学級指導・学活の時間が週間カリキュラムに位置づいていた。この6限を5限に繰り上げ、必要な時に学級指導として2時間おこなうようにした。

当時の話しあいでは、一般生徒は5限で帰し、必要な生徒を残し、面接したり仕事をさせたりする時間にしようということだった。しかし、現状では、学校祭前1～2ヶ月は、全クラスが2時間使用の演劇や合唱の練習にとりくませているが、それ以外は、学年(2

クラス)で足並みを揃えて、5限だけで終わっている。今後は、教師にとっては負担となるかもしれないが、初心に戻って、生徒との面接時間として有効な使い方を位置づけていくべきだろうと思う。

表③ 中学担任会の申し合せ事項 覚え書

<p><生活></p> <ol style="list-style-type: none"> 8:30のチャイム以後を遅刻あつかい。 朝のST後の生徒の教室移動は禁止(除 1限の授業か教室移動の場合) ex, トイレ, 教科書の貸し借りなど 月曜日の4限、「ゆとり」の時間は行事などに変更のない限り、始めのチャイムで席に着く。担任から伝達事項(掃除区域の確認など)を聞いたあと清掃活動にはいる。掃除・昼食の終了時刻は12:15あたりをメドに担任裁量。中庭の掃除はおしゃべりをしない、中庭では遊ばせない。 (高校棟は普通授業をやっている) 昼食を生徒とともに食べるよう心がける。 授業のない日以外は必ず学生カバンを持ってくる。(手さげだけはダメ)紙袋禁止 パンの個人買いは原則として禁止。やむをえない場合は担任裁量 土曜の部活などの時も上に準ずる。 牛乳は、昼食時・昼放課・授業後のみ飲んでよい。飲む場所は教室と販売機前のみ。 屋上での遊びは、昼放課等(長い休憩)に限る。軟式テニスホール以外のホール使用禁止。使用にあたって学年間の争いか生じたら協議する。 教室移動の時は、消灯・戸締まりを忘れないようにさせる。 他学年の生徒か教室内に無断で入らないようにさせる。 欠席・遅刻・早退・カギ借用に生徒手帳を必ず使う。 校内であめ・菓子類を食べる、食べさせることは、絶対に禁止。 ex, 学活などの○○○会 学活での家庭科室使用は禁止。 <p><服装></p> <ol style="list-style-type: none"> 上着の下は原則として白のカッターシャツに限る。色ものを着ている時は上着をぬがせない。 原則として、体操のジャーシ姿のまま教室の授業を受けることは禁止。 靴下は白を原則、フリル等のついたものはため。女子の冬季は黒ストッキングをはいている時のみ、黒の靴下をみとめる。 夏の服装時のバンドはハテでないものをするように注意を促す。 ex, 白・赤・まっ青 などは禁止の方向で <p><その他></p> <p>※ 学年だけでも最低同歩調で指導にあたること。</p>	<p>S・60・4</p>
--	---------------

V. まとめと問題点

本校に位置づいてきた4.5時間のおかげで学校祭の「合唱コンクール」「演劇コンクール」の成功があり結果として、生徒の学校生活への充実感を味あわせることになっている。

また、「生徒活動」の時間のおかげで役員の自主性や主体性が育ち、彼らの将来に影響をおよぼしていくものと信じている。この点の現れとして最近の本校高校生徒会役員を附中出身者がやるようになったことをあげられないだろうか。

もうひとつ忘れてはならないこととして、担任教師

と生徒との教科外でふれあい時間の増加は「ゆとり」本来の主旨に一致するもので意義深いと考える。

最後に問題点をいくつかあげ、今後の本校のとりくみに期待しつつ報告を終わる。

- 活動する内容がはっきりしているうちはいいが、もてあます時間になりうる。
 - 担任団の意志疎通がしっかりなされていればいいが、生徒指導上の不公平さをより一層生む結果になりやすい。
 - 「学級会活動」「道徳」の内容がおろそかになる
 - 中学正担の教科の持ち時間数が少なくなるために本人の不満・非常勤講師の増加 などなど
- 以上